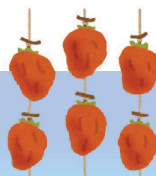




久慈農業改良普及センターだより

あぐりあす

第277号



令和6年2月29日発行
久慈農業改良普及センター
経営指導課：0194-66-9684
産地育成課：0194-66-9683
地域指導課：0194-53-4989
FAX：0194-53-5009

～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1 久慈地域の情報

○普及現地情報 . . . 1

- ・短角牛の未来を考える座談会を開催しました！
- ・ピーマン実績検討会を開催しました！
- ・野田小学校で食育出前教室が開催されました

2 お知らせ

○いわてアグリフロンティアスクール . . . 4

令和6年度受講生募集！

- ・経営感覚・企業家マインドを持って経営革新や地域農業の確立に取り組む、先進的な農業経営者等を養成します！

○山火事注意 . . . 6

- ・3月1日～5月31日は山火事防止運動月間です。
火の扱いには細心の注意を払いましょう！

○農業情報メールサービスの紹介 . . . 7

- ・岩手県の農作物技術情報や農村地域などの情報を幅広く提供するメールサービスを行っています。ぜひご活用ください。

短角牛の未来を考える座談会を開催しました！

地域おこし協力隊や若手の生産者が短角牛生産の現状を確認し、今後の短角牛振興への思いを語り合うことで、自らの就農計画等を考えるとともに、関係者との横のつながりを深めることを目的として、「短角牛生産の未来を考える地域おこし座談会」を開催しました（12月22日、11名参加）。

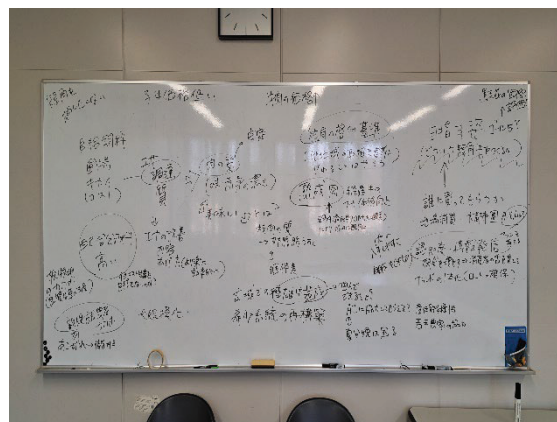
座談会には、日頃から短角牛の生産・加工に携わっている久慈市及び岩泉町の地域おこし協力隊員や、市内の短角牛生産農家の従業員が参加し、種雄牛造成を担当する県農業研究センター畜産研究所の担当者をアドバイザーとして「短角牛生産を未来に継続するために必要なこと」をテーマに意見交換を行いました。

座談会に先立ち、普及センターから生産の状況、畜産研究所から種雄牛造成の現状について説明していたこともあり、意見交換では生産、加工、流通に留まらず、改良についても話が及びました。

参加者からは「他地域の生産者ともつながりたい」「ぜひ第2回を」といった声もありました。こうした交流を通じた若手生産者等の育成を継続していくことの大切さを実感しました。



座談会の様子



意見交換の内容

ピーマン実績検討会を開催しました！

久慈地域では、令和4年度から本格的にピーマンの生産が始まり、令和5年度は生産者数、面積ともに増加し、系統出荷額も1,000万円を超えるなど、久慈地域の新たな野菜品目として注目されています。

その実績を生産者、関係者と共有するため、新岩手農業協同組合久慈地域野菜部会として、ピーマンの実績検討会を1月23日に開催し、関係者等合わせて28名が参加しました。

実績検討会では、収量や販売額の大幅な増加について報告された後、産地全体の課題とその対策や、初期生育の促進と収穫開始を早めるトンネル実証展示の結果について共有しました。生産者は、基本的な栽培管理の徹底の重要性や、作型の組み合わせについて理解を深めた様子でした。

令和6年度もピーマンの栽培面積は拡大する見込みとなっており、より効果的な支援が求められています。今後も関係機関・団体が一丸となり、ピーマンの生産拡大を支援していきます。



会場のようす

普及現地情報
令和6年1月25日
久慈農業改良普及センター
記述者 東海林 豊

野田小学校で食育出前教室が開催されました

1月24日、野田村立野田小学校で4年生児童36名を対象に食育出前教室「ほうれんそう学校給食」が開催されました。

野田小学校では毎年、子供たちに生涯健康な食生活を営む資質を養い、地域の基幹となる農作物への理解を深め、地産地消に対する関心を高めるために実施されています。

普及センターから、久慈寒次郎と一緒にほうれんそうの来歴や栽培方法、寒締めほうれんそうについて紹介しました。

その後、企画した栄養教諭から献立を説明したのち、児童と一緒にほうれんそう給食を会食しました。

児童から「暑い時期に栽培できる品種はあるか?」、「岩手県のほうれんそう出荷量はどのくらいか?」などの質問がありました。給食を残さず食べた児童は地域農産物のほうれんそうについて理解を深めた様子でした。

こういった企画を通じて将来の担い手候補である子どもたちの地域農産物への理解を進める活動を今後も大事にしていきたいと思います。



寒次郎と一緒に学びました

経営感覚・企業家マインドを持って
経営革新や地域農業の確立に取り組む、
**先進的な農業経営者等を
養成します!**



募集
期間

2024
1.16 ▶ 3.15

令和
6年度

受講生募集

定 員

35名

授業料

21,000円 / 1年

※ただし、現地研修等の参加費は別途必要な場合があります
※教育訓練給付制度【専門実践教育訓練】対象講座です

開講期間

令和6年5月下旬～令和7年2月

開講場所

岩手大学農学部（盛岡市上田三丁目18-8）等

授業プログラム

- 1 農 業 経 営 科目群
- 2 6 次 産 業 化 科目群
- 3 農 村 地 域 活 動 科目群

受講対象者

岩手県内に居住し、大学の受験資格を有する以下の者

- 農業経営者、農業後継者、農業従事者等
- 6次産業化に取り組んでいる者
又はそれを支援している者
- 農村地域活動に携わる者
(地域振興、土地改良、担い手育成等のリーダー
又はそれらの者を支援している者等)

アグリ管理士取得!!

条件を満たして修了された方に
岩手大学が認定する
「アグリ管理士」資格を授与します



本教育プログラムは、文部科学省「職業実践
力育成プログラム」に認定され、また、厚生労
働省「教育訓練給付制度（専門実践教育訓
練）」の講座指定を受けました。



出願・問い合わせ先

いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局

(岩手大学農学部地域連携推進室内) TEL:019-621-6231 FAX:019-621-6107

Email: atiren@iwate-u.ac.jp

主催：いわてアグリフロンティアスクール運営協議会
(岩手大学、JAいわてグループ、岩手県)

募集要項・入学
申込書はコチラ

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/iafs/>



<令和6年度教育プログラム> (予定)

【凡例】◎…必修科目 ○…選択科目

科目名			日数	時間数 (単位：h)	科目群		
					農業経営	6次産業化	農村地域活動
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3	○	○ 18時間 以上 ※1	○
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6	○		○
	人的資源・労務管理	講義	1	6	○		○
	経営成長・経営継承	講義	1	6	○		○
	農業経営戦略論	講義	1	6	○		○
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12	◎	◎	○
	農業簿記・経営診断演習	講義・演習	1	6	○	○	○
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6	◎	◎	◎
	経営改善計画演習	演習	1	6	◎	◎	—
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12	◎	◎	—
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	—	—	◎
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	◎	◎	◎
「農業生産管理」 科目	土壌管理（土壌・肥料）	講義	1	6	○ 9時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	病虫害管理（防除・農薬）	講義	1	6			○
	農業生産の工程管理	講義	1	6			○
	農業機械	講義・演習	0.5	3			○
「6次産業化推進」 科目	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○	○
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			○
	地域資源活用論	講義	1	6			○
	食産業ビジネス論	講義	1	6			○
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			○
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			○
	都市農村交流論	講義	1	6			○
	地域活性化論	講義・演習	2	12			◎
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6	○	○	○
	商品開発	講義	0.5	3	○	○	○
	デザインとブランド	講義・演習	1	6	○	○	○
	ネット&デジタル技術活用	講義	1	6	○	○	○
現地研修等	現場スタディ	現地研修	2	12	○	○	○
	マーケティング改善演習※2	演習・現地研修	2	12	○	○	○
	農業技術先進地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	6次産業関連現地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6	○	○	○
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6	※○	※○	—
受講可能時間数：225時間、修了にかかる必須時間数：120時間（必修科目含む） ※1：記載の単位数以上受講することが望ましい ※2：インターンシップを行う者は※2の科目のいずれかと振替可能 対面とリモートのハイブリット型の講義（7～10講義程度）を予定							

山火事注意

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が起きやすい季節です
野焼き、たき火、たばこ、火の扱いには細心の注意を！！



令和6年山火事防止運動統一標語
忘れない 山の恵みと 火の始末

3月1日～5月31日は山火事防止運動月間です

久慈地方林業振興協議会

電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけではなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

【QR コードからも申込みできます】

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・農作物病害虫発生予察情報
- ・病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)



今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご活用ください。

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【12、1、2月分の掲載記事】

- 産地紹介：《一関》目指せ高品質米生産！「銀河のしずく」「金色の風」栽培研究会の活動紹介
《盛岡》～もち米産地から“もち小麦”文化の発信～「志和もち姫生産集団」
《中部》農業女子グループ「北上地方生活研究グループ連絡協議会こんにゃくクラブ」の取組を紹介！
《八幡平》農業女子グループ「はちまる加工グループ」の取組を紹介！（令和5年度）
《二戸》産地・産直等紹介『未利用資源を活用した地域ぐるみの肉用牛生産の取組』

- 人物紹介：《久慈》人物紹介『松下幸平さん 皆様の食卓に豊かな食事を』
《八幡平》人物紹介『ニューファーマー紹介 八幡平市 工藤勇気さん』
《中部西和賀》「大好きな酪農をいつまでもやりたい」藤田春恵さん

- 『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

